

令和7年度 第2回岡崎市農業振興ビジョン推進委員会 会議録

1 開催日時

令和8年3月31日（火） 14:00～15:00

2 開催場所

岡崎市役所西庁舎 7階702号室

3 出席者

(1) 会長

藤井芳一

(2) 職務代理人

羽根田正志

(3) 委員

大竹博久、小久井孝幸、本田みさ江、太田立身、栗田なおみ

(4) 事務局

経済振興部長：畔柳久司

経済振興部農地整備課長：柴田英幸

経済振興部農務課長：小林哲夫

経済振興部農務課副課長：板坂英幸

経済振興部農務課農政係：井尻智久、杉浦一子

4 傍聴者

なし

5 会議次第

議題

岡崎市農業振興ビジョン2030の改正について

6 議事要旨

議題

岡崎市農業振興ビジョン2030の改正について

岡崎市農業振興ビジョン2030の改正について、事務局から説明。

【各委員の主な意見・質疑】

○会長

成果指標一覧中の中間評価の値が下がっているものもあるが、最終年度の目標値は変更しなくても良いか。

(事務局)

中間評価の値が下がっているものもあるが、今後も最終年度の目標値の達成に向け

て努めるよう、そのまま据え置きとした。

○会長

新規就農の育成・支援において、新しく親元就農が追加されたが、指標の人数には含まれていない。含めた方が良いのではないか。

(事務局)

指標に含めることが難しく、含めることを見送ったが、アクションプランでは、親元就農を含めた目標が定められるようにしたい。

○委員

認定農業者の平均農業所得が上がっているが、米価が高くなったことも関係しているか。

(事務局)

その一因もあると思われる。

○委員

有機農業とあるが、有機JASのことを示すのか。

(事務局)

本市の進める有機農業においては、有機農業の推進に関する法律で定義される、「化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業」としている。また、ブロックローテーションを行っているため、有機JASのみは難しい。

○会長

人口推計が、最新のもので無いと思われるため、確認いただきたい。

(事務局)

確認し、人口推計を最新のものへ修正する。

<挙手全員、一部修正含み、原案どおり委員会として可決。>

7 その他

おかざき市民応援（米等食料品購入）商品券等について、事務局から説明

終了を宣言。